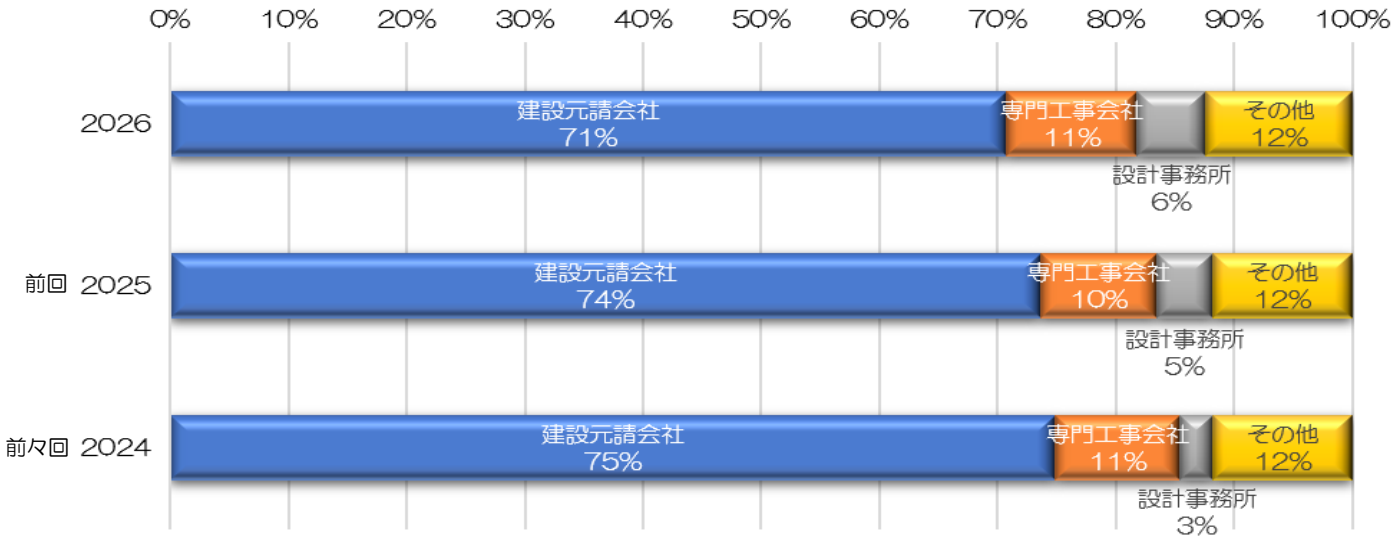
「日建連 BIM セミナー2026」アンケート結果

アンケート回答数：451　回答率：42%

前々回 2024 年度_各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)
前回 2025 年度_BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表

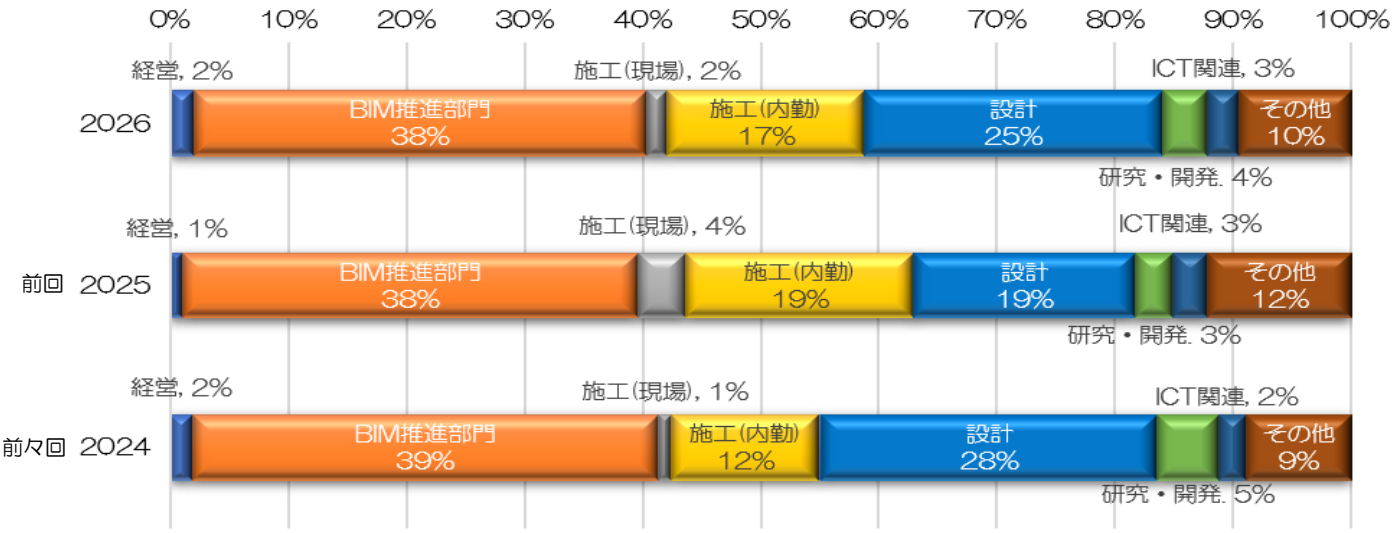
1．参加者(アンケート提出者)の所属会社について［%］



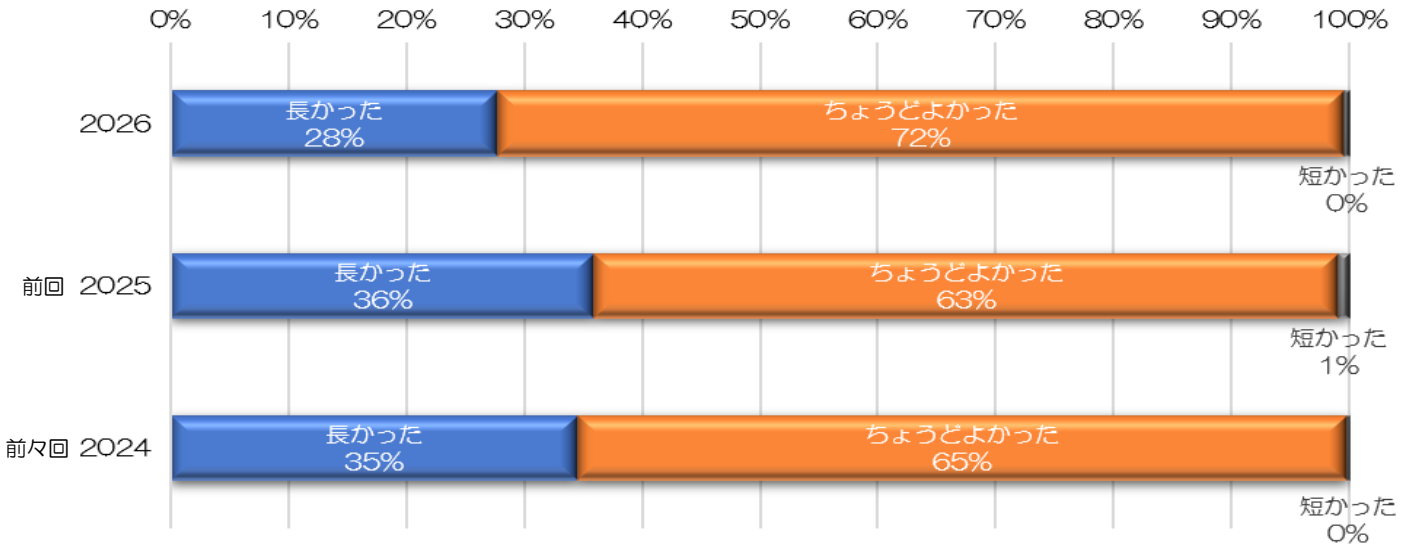
○2026「その他」の内容

・官庁・自治体(2%)、ソフトウェアベンダー(1%)、研究・教育機関(0.4%)、デベロッパー・コンサル(2%)、その他(7%)

2．参加者(アンケート提出者)の所属部署について［%］



3．講演時間について［%］



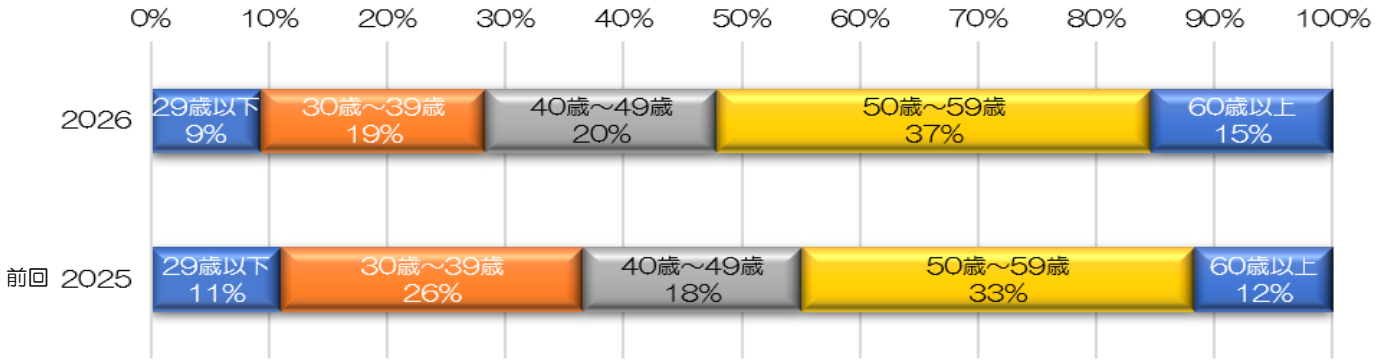
講演時間については、『長かった』28%、『ちょうどよかった』72%となっており、半数以上が講演時間については、概ね好意的との結果となった。

〇セミナーに関する意見・感想について

■配信について

・ビジュアル資料をもとに討論があるとよりわかりやすいと思いました。

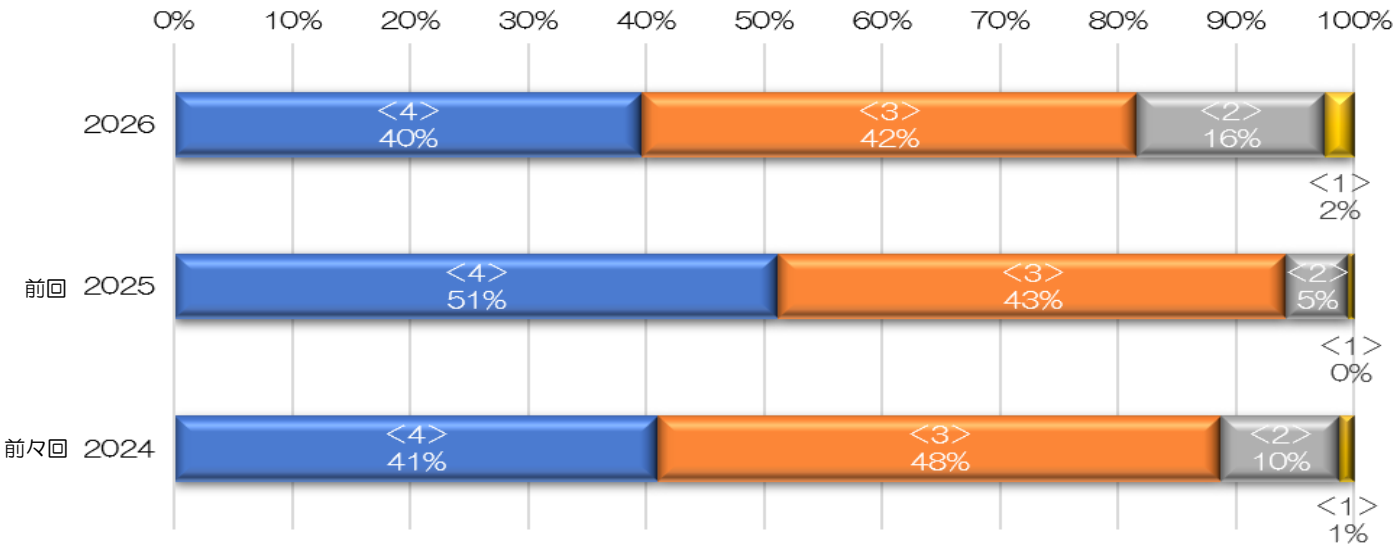
4．年齢構成について［%］



※2024 年度_各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)：設問なし

5．セミナーの参考度について［%］

凡例：参考度（４段階評価）
参考になった ← ４ － ３ － ２ － １ → 参考にならなかった



〇セミナーに関する意見・感想について

【討議①】設計と施工が共創するワークフロー

■良かったこと

・設計フローの考え方等、とても勉強になりました。

・設計でしっかりと情報を作成し施工につなげることが有効であるということは共通認識だったと思います。

・BIM を設計への負担転嫁と業務増加とネガティブな認識をしていた為、ポジティブな説明は参考になりました。

【討議②】設備工事で共創する BIM ワークフロー

■良かったこと

・設備だけでなく、他部署がどのように考えて設備 BIM を見ているのかを知ることができて非常に参考になりました。

・設備 BIM はとても興味深かったです。また、BIM を使用することで、今までよりもコミュニケーションが活発になるというのは意外でした。勉強になりました。

・意匠・構造設計者間で設備的に必要な要素(天井内の懐とか機器の設置スペース)などの情報共有の為にも BIM モデルをもっと活用できる環境が整備されれば良いと思いました。

■課題に感じたこと

・サブコンに仕切られないようにというご発言があったかと思いますが、仕切るつもりはなく、そうならざるを得ない状況もあるかと思います。

・構造と設備と鉄骨の早期のデータ連携の強化は必須だと思います。

【討議③】鉄骨工事で共創する BIM ワークフロー

■良かったこと

・鉄骨 BIM をテーマにしたのは良い案だと思います。(他 1 件)

【全体】

■良かったこと

・BIM ワークフローの公開ありがとうございました。大変参考にさせていただいています。
・有意義なセミナーなので、今後も続けて欲しい。（他 9 件）
・セミナーに参加して BIM に関する知識が向上したと思いました。今後も BIM を利用し、業務の効率を向上させて行きたいと思います。
・若手への教育に役立つ内容でした。
・BIM の他社の取り組みや進み具合など参考になりました
・理想とする段階に到達するのは、まだまだ困難があると思いましたが、少しずつ近づいているような気がしました。建設業界全体の問題でもあるので、更なる情報発信に期待します。
・BIM を推進し、メリットが享受できるようになると、建設業全体の魅力化につながっていくように感じました。
・「ワークフロー」「共創」という用語の真意が今回の動画配信を見て理解できたところが多々ありました。（他 1 件）
・日々の業務の中で感じていたことを発言していただいていたので、とても共感出来ました。
・BIM により正しい情報共有が、正確に行われることの重要性や、コミュニケーションツールとして優れている事、社内共有する情報が多く勉強になりました。（他 1 件）
・個々で取り組むのではなく会社全体で共創して取り組むことが大事だと改めて気づきました。
・全体ロードマップ、現在地が分かり易く整理されており、非常に参考になりました。
・BIM を使って、設計・施工間のコミュニケーションのあり方を見直し、より密接に協働することで、生産性を向上していこうというメッセージと受け止めた。この趣旨をもう少し始めに強調してもよかったかと思います。
・CDE と情報の共有が大切であることを理解しました。
・BIM への取組み推進が進むことにより、建築業の魅力化にもつながると感じました。
・ソフトは進化して便利な機能も増えてきてはいますが、その中でもパネラーの方のコメントで、「コミュニケーションが大事だ」というコメントに納得感がありました。

■課題に感じたこと

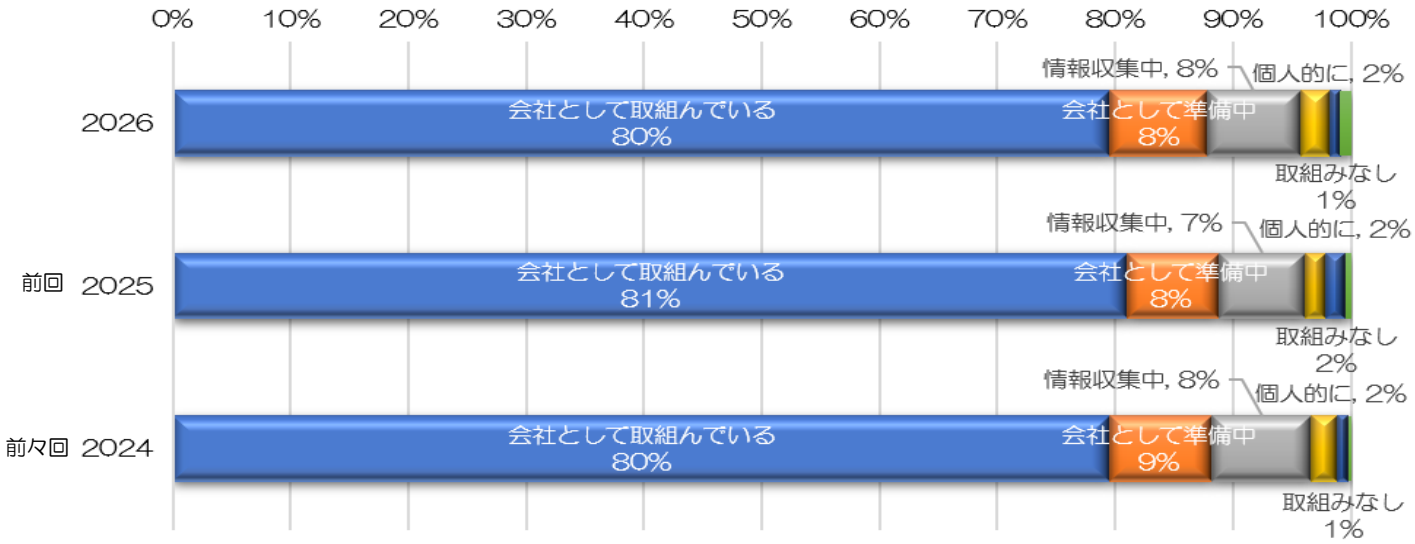
・どのように進めていくのか、どう理解を得ていくのかが BIM 化の大きな課題で、システムが構築されるまで残る問題だと感じています。
・失敗談が出てこないのも推進の妨げになっているのではと感じました。
・BIM の導入負担が軽減されると、大手から小規模事務所まで誰もが気軽に使えるようになり、建築業界の発展に不可欠なコミュニケーションツールとして寄与されると思われます。
・BIM は生産性向上に大きく貢献する可能性がありますが、取り扱いがもっと容易にならないとなかなか普通の現場が使うにはハードルが高いと思います。
・施工の人材不足に関しては、BIM を活用し緩和できるように感じたが、設計者不足についてはなかなか厳しいものがあるように感じました。
・BIM のフローについてはとても理想的だとは思いました。ただこれを社内で共有したとき、発注者や設計者の理解はまだ先だろうとも感じました。本セミナーで話されていた意義や理念を伝えていかなければと思いました。
・ゼネコンがモデルを積極的に展開することが BIM 加速につながると考えます。
・BIM の取組みを進めていますが、進捗が実感できない実情があります。関係者が興味を持ち自分ごとで進める必要を切に感じました。興味をどのように持たせるのか検討して進めていきたいと思います。
・BIM に携わる中で積算がどうしても一旦切り離される。含まれていないことにジレンマを感じている。

・施工側はもの決め期限が重要なことは理解し、施主に説明しますが、施主側が早期もの決めのメリットを感じられていない。
・効率化のために、フロントローディングや CDE による情報共有を進めなければいけないところですが、そのために BIM が最適ツールなのか、今日のご講演では疑問を持ちました。
・BIM に取り組んでいる企業とそうでない企業の格差が大きくなり、取り残された企業には取り戻せないハンディキャップを背負ってしまっているような気がします。
・体制作りと成功体験が施工現場には必要だと思うので、もっとチャレンジする環境作りも必要だと考えます。
・設計の出来る施工者が作図しないと正確な成果品とすることが難しいと感じており、それができる人材育成に高いハードルを感じています。
・川下の施工会社の分野では BIM への取り組みが進んでいると思いますので、上流が整備されれば一気に進むのではないでしょうか。
・BIM データの広範囲な活用が課題と感じています。

■取り上げてもらいたい内容について
・設備のデータ連携、具体的にどうやっていけばよいかを明示するとよいかなと思います。
・設計、設備、施工間でデータをやりとりする際の成功例と失敗例をもっと聞きたかったです。（他 1 件）
・積算 BIM についても聞かせていただきたい。
・仮設・RC 等の他工種についても情報共有ができますと BIM 利用のヒントになるかと思いました。
・現状や将来など、大きな話も参考になりますが、具体的な事例も紹介して頂きたいです。
・BIM 部会などのメンバーだけではなく、現場所長などの実際に携わった人の現実的な話が聞けるとよいと思う。
・施工事例の発表も聞きたいです。（他 1 件）
・施工 BIM や設備 BIM についても人材教育などが課題にあって、その現状や対応・対策などどのようにしているか、知りたい。また建設現場での CDE 活用などの現状が知りたい。
・いろいろ権利関係があって難しいとは思いますが、実際に BIM を体感している人が圧倒的に少なく机上の話に終始してしまうのが残念。その辺を調整して大々的に「デモ」を行えるようになってくれると良いと思います。
・構造設計 BIM→鉄骨製作 BIM 連携の急所をまとめ、紹介して欲しい。
・今後 AI が設計、施工業務に入ってきた時の業務フローが気になりました。
・BIM のみならず AI との連携・連動が必須になるかと思います。
AI との連携を活かすには川上の設計図の精度・確度が向上しないことには何ともならないと思われます。

■セミナー内容の改善について
・資料・文字のみならず BIM データや 3D データも活用した議論や発信があると BIM 理解が浅い人にも伝わりやすくなると思いました。（他 2 件）
・内容が難しい。よほど BIM を経験していないと理解できないのでは。（他 3 件）
初心者が BIM を導入したいと思わせるようなセミナーにしていただきたい。
・具体的な実務の話よりも、コミュニケーションが大切等、少し抽象的な内容の割合が多く感じました。
・もっと突っ込んだ話が聞きたかった。
内容としては理解していても、実際にどう進めて誰がどのように進める（誰が理解者となって）進んだのか、もっと具体的な中身が知りたかった。

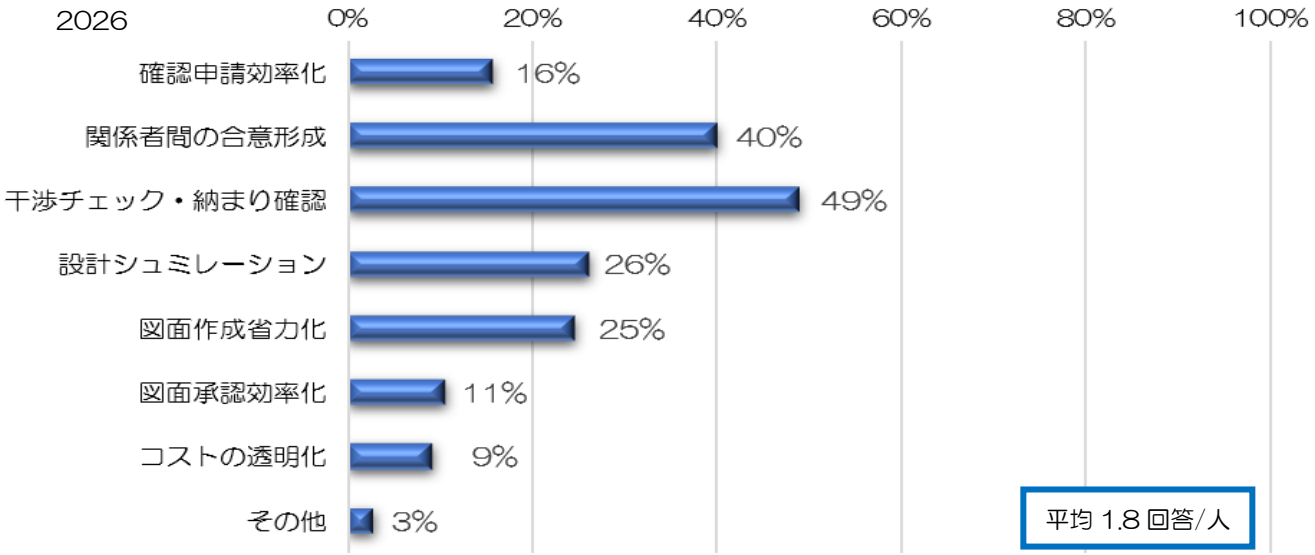
6．BIM の取組みについて

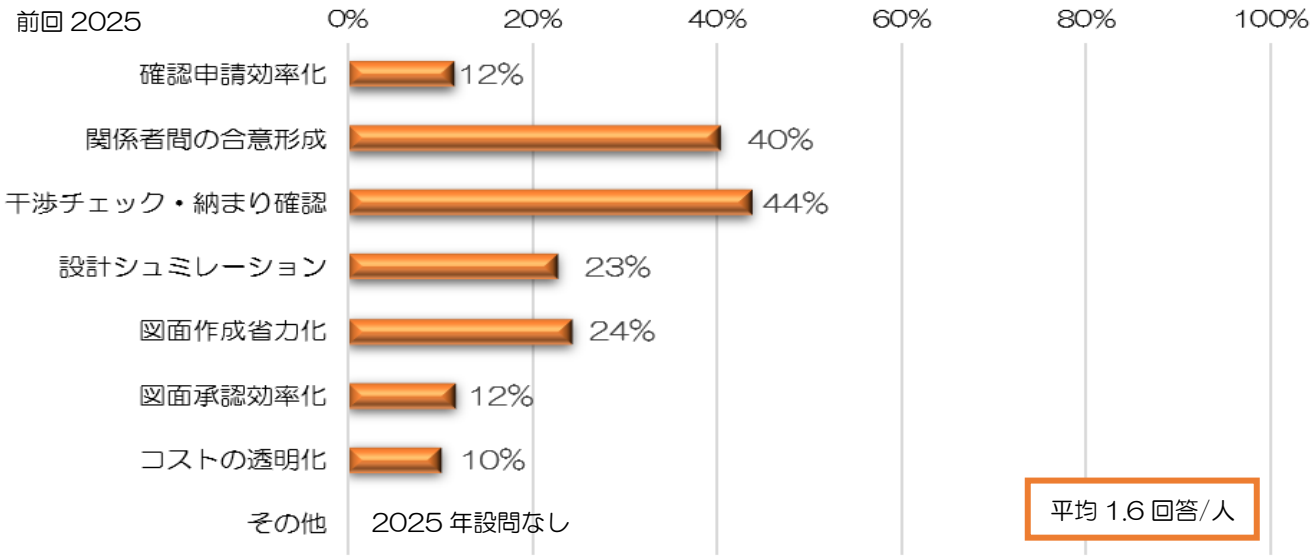


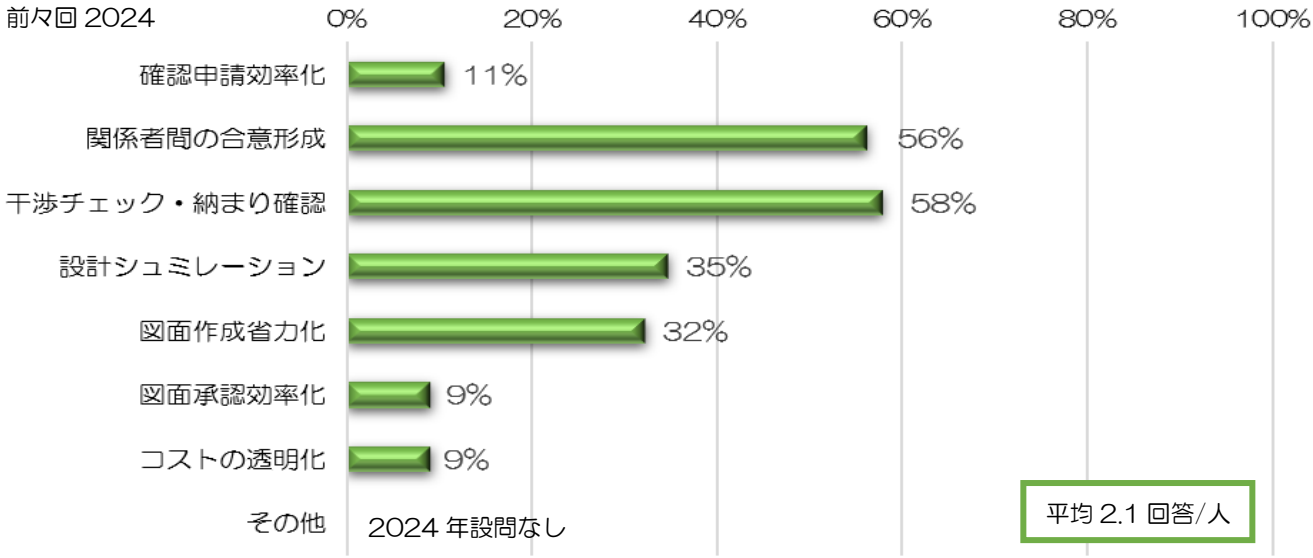
『会社として取り組んでいる』は 2024 年の 80%からほぼ横ばいの状況。

約 8 割の会社が、BIM に取組んでいる。

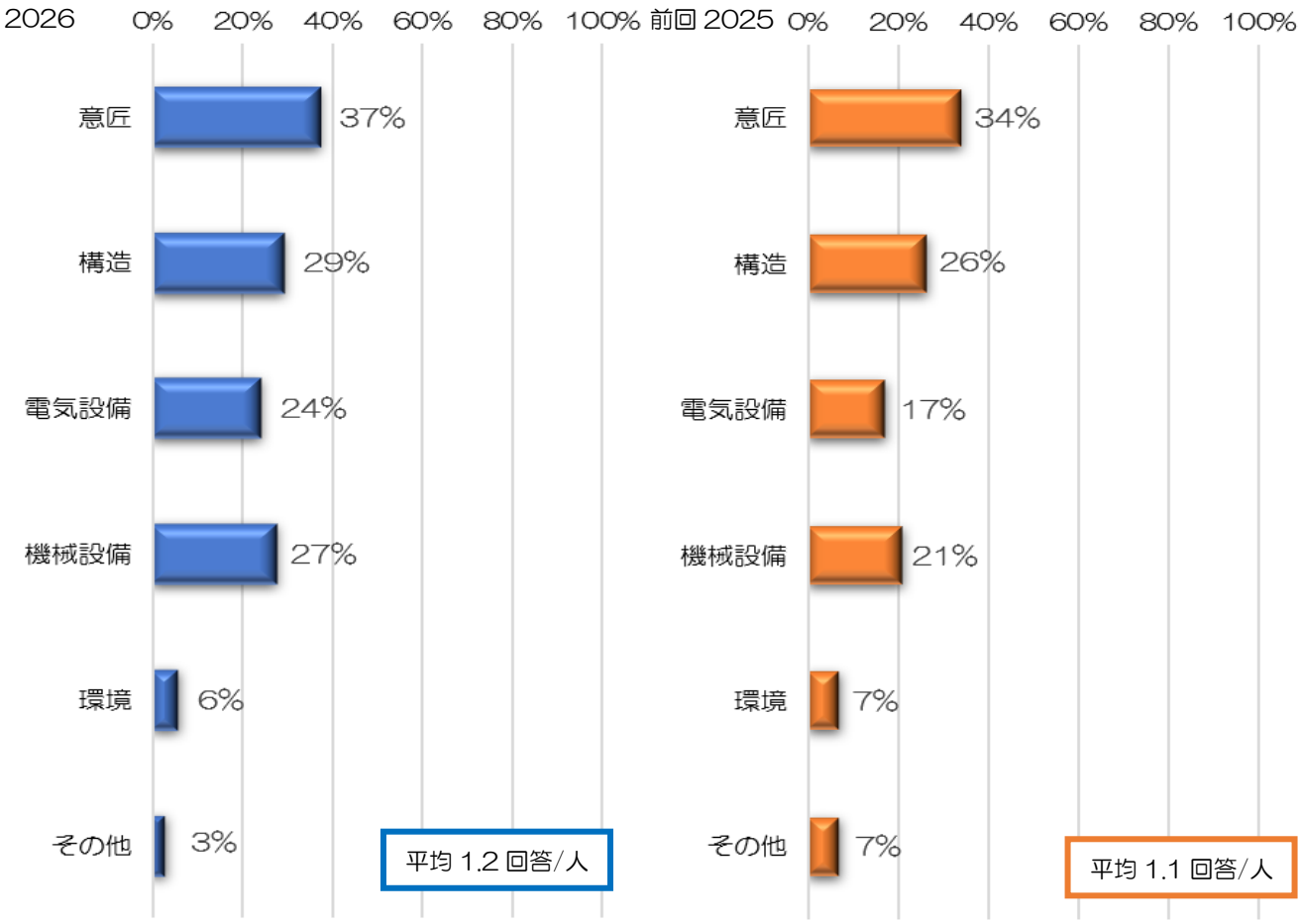
7．設計 BIM の目的(複数回答)





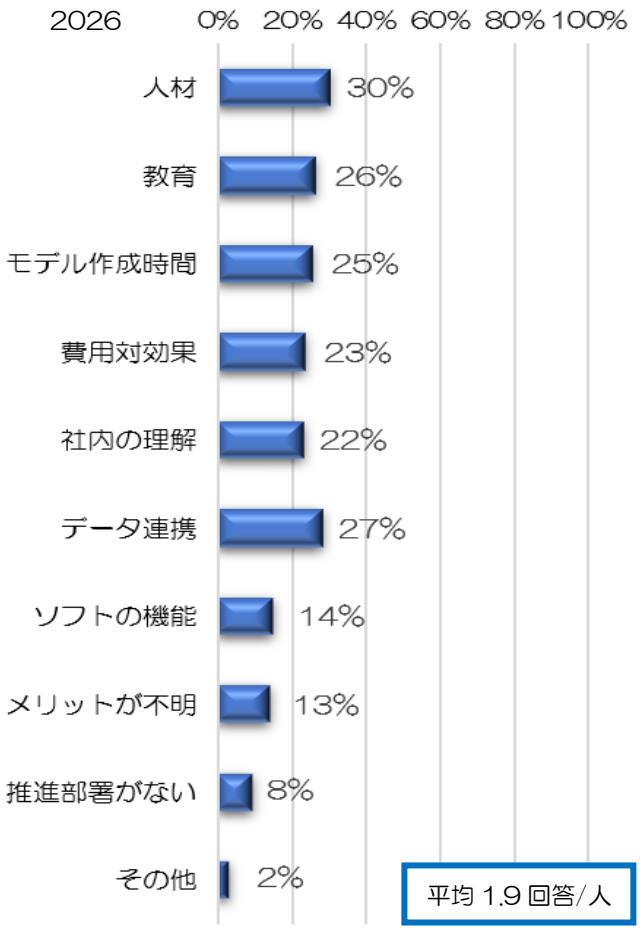


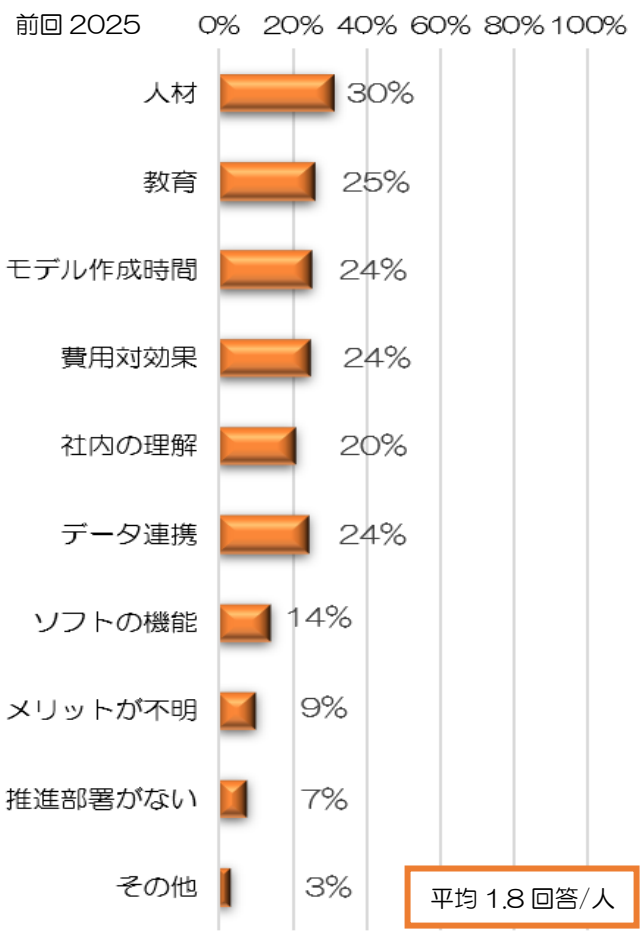
8．設計 BIM の分野（複数回答）

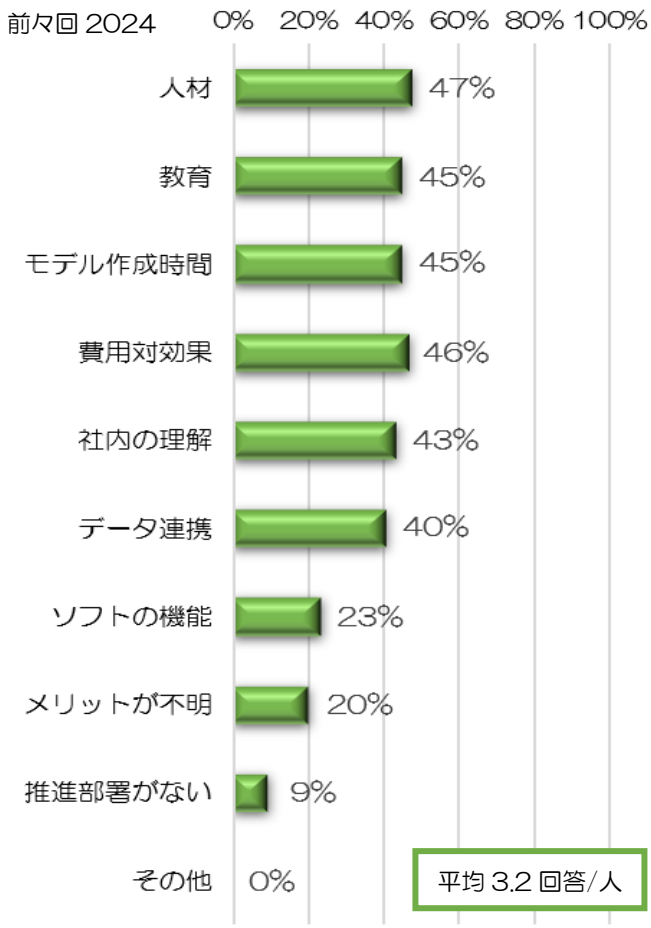


※2024 年度_各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)：設問なし

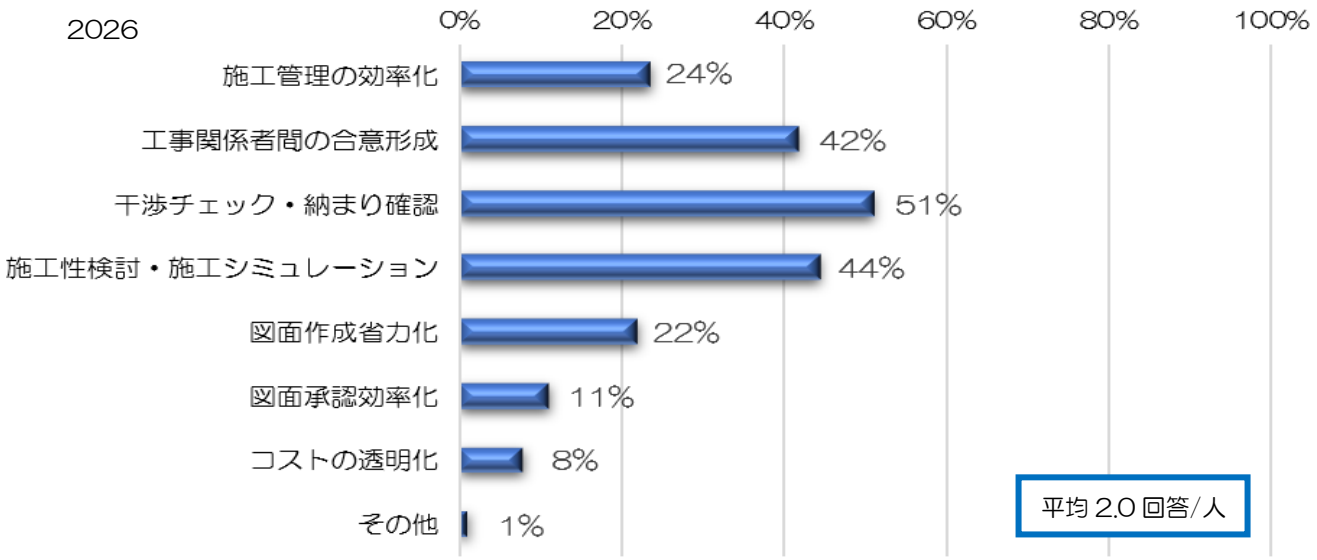
9．設計 BIM の課題（複数回答）

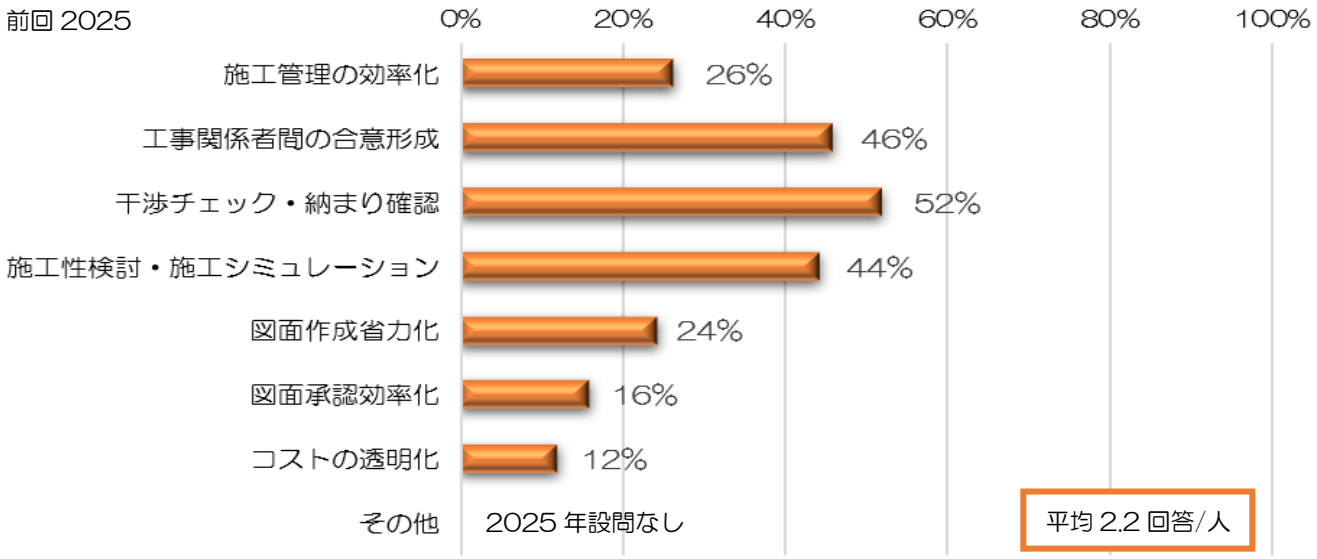


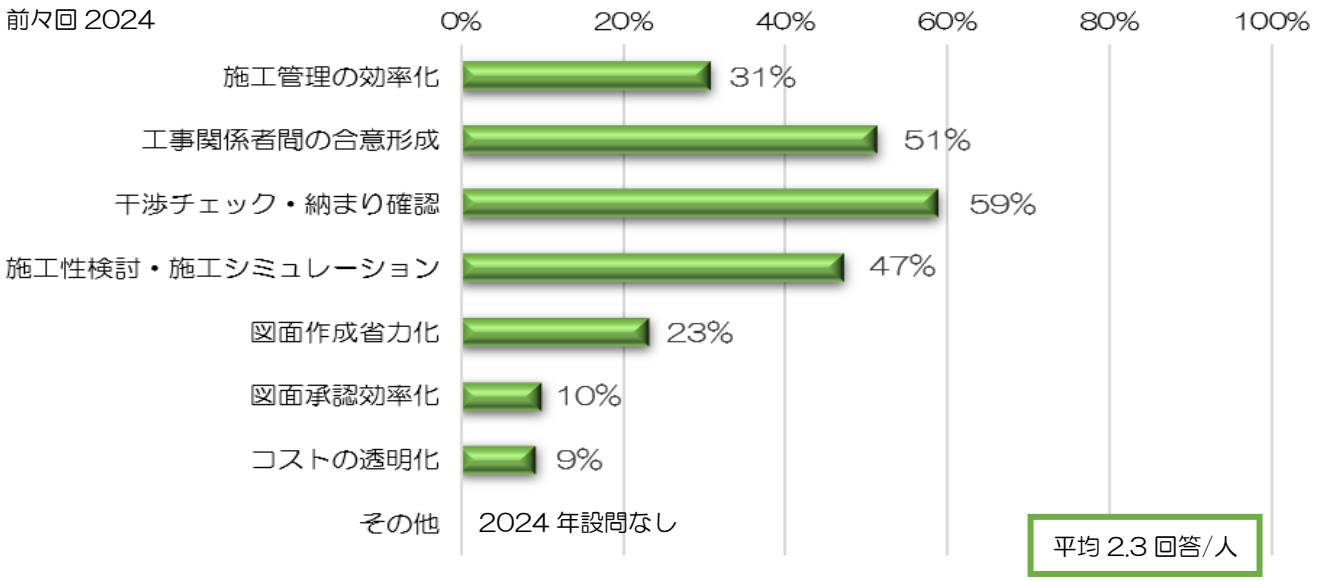




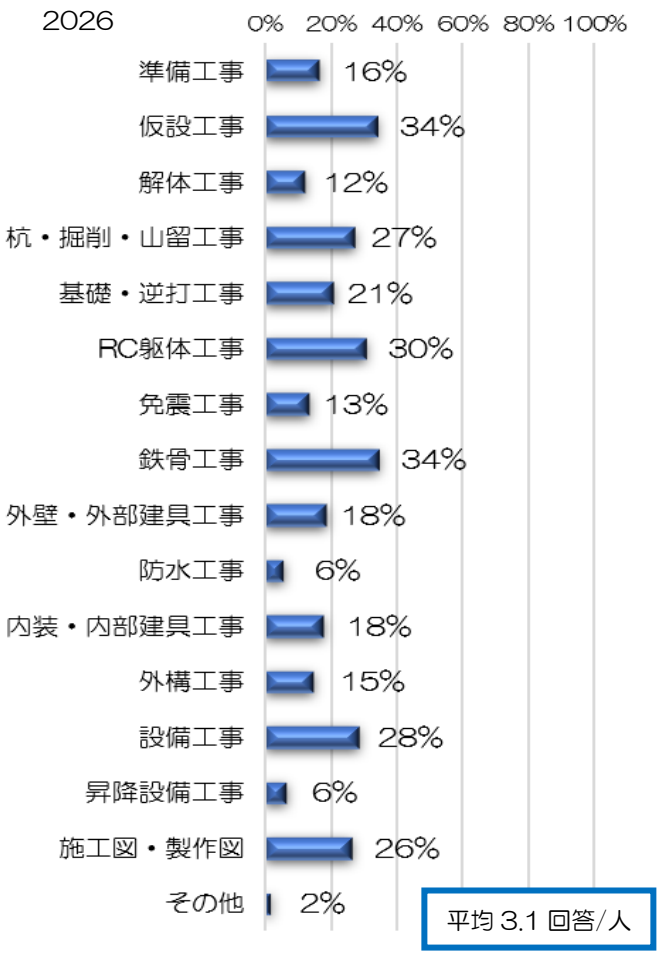
１０．　施工 BIM の目的（複数回答）

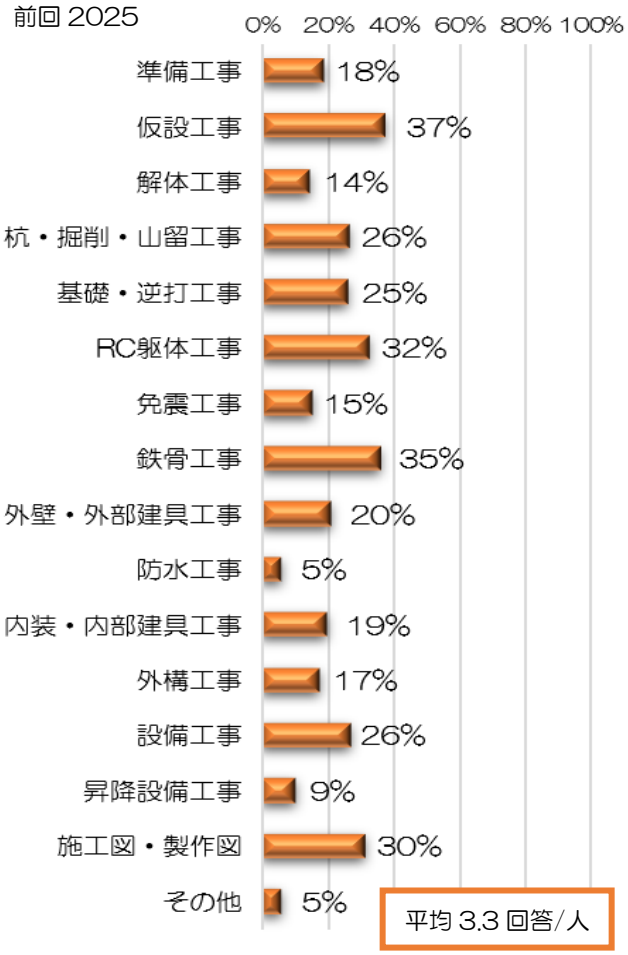


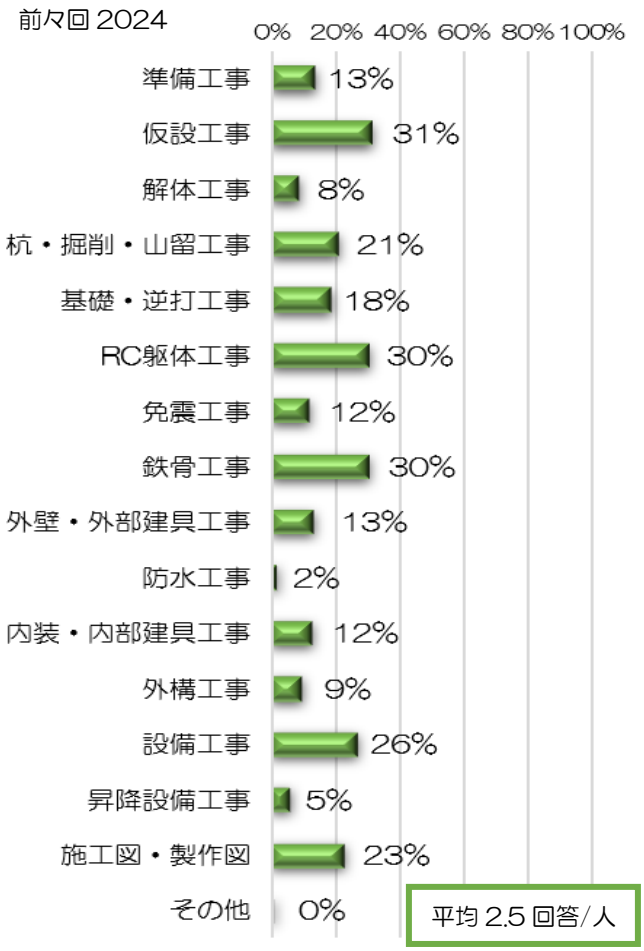




１１．　施工 BIM の工種(複数回答)

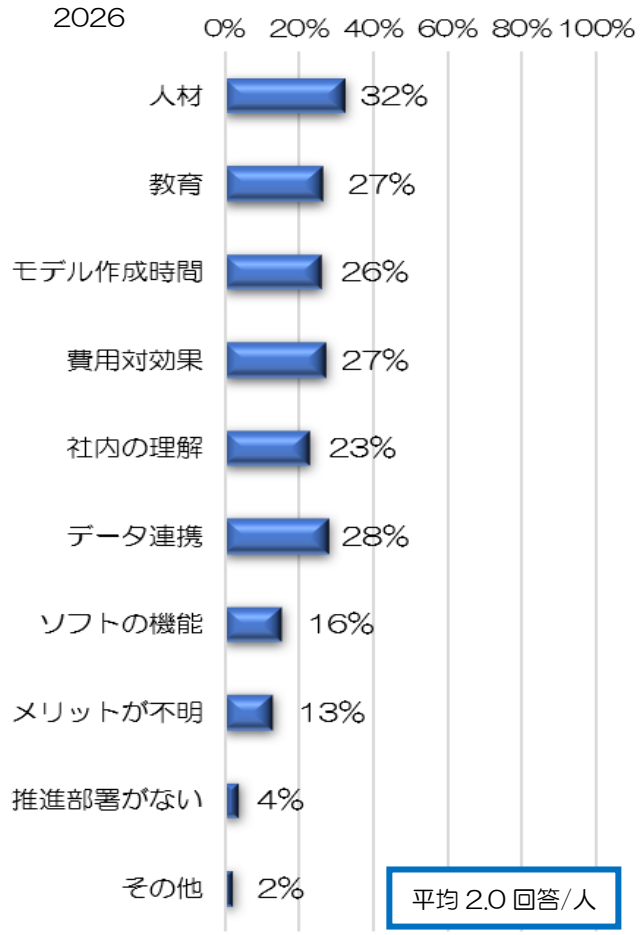




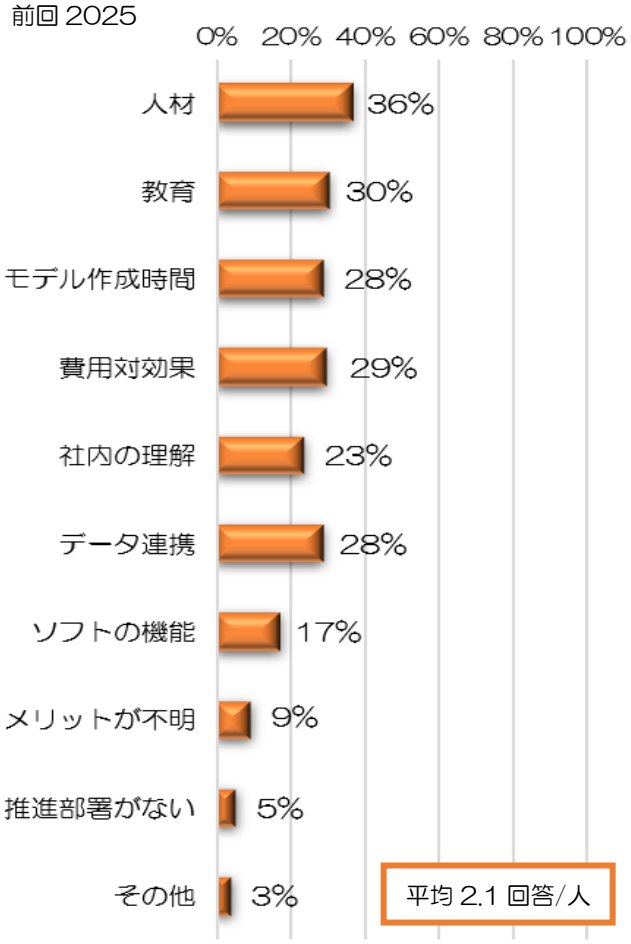


１２．　施工 BIM の課題（複数回答）

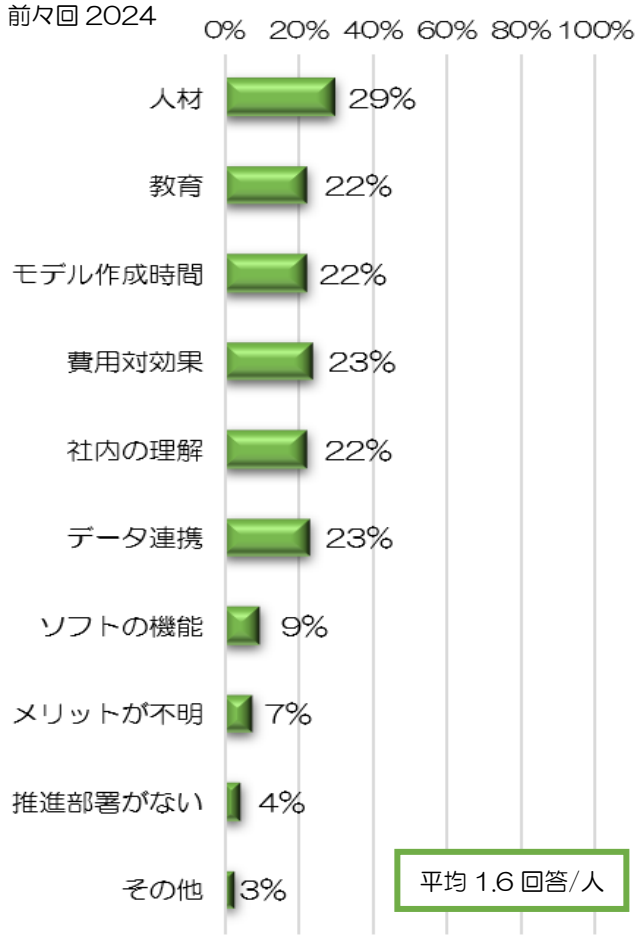
2026



前回 2025



前々回 2024



１３．　その他、「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」「BIM への取組み推進にあたって日建連に期待すること」等ありましたら、ご自由にご記入ください。

「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」

■セミナー要望について

・引き続き定期的にセミナーを開催して下さい。（他３件）
・Rebro による BIM 活用と、Revit MEP による BIM 活用についても取り上げてほしいです。
・BIM 申請図の効率的な作成方法について実演セミナーを行ってほしい。
・活動事例の発表を増やして頂きたい。また、失敗した事例も知りたいです。（他１件）
・BIM ソフト情報が欲しいです。
・トピックスとして事例など随時公開していると助かります。
・直接的に BIM を使用していなくてもいただく資料・データや提出した図面・データが BIM と係わっているのかなどを知りたい。
・部門に限らず、世代間の「建築知識、BIM 知識」に対するギャップを縮められるようなコンテンツが欲しいです。
・どのようなメリットがあるのか、初期投資はどのように賄うのか、より高度に活かせるようになるにはどうしたら良いのか、響きやすい事例があれば、見てみたいです。
・今後、有効的な CDE の使用方法などもっと深堀した話題のセッションも拝聴したいです。
・顧客、営業起点を巻き込んだ、もの決めの議論と継続性についてのセミナーを組み込まれると良いと思います。
・施工 BIM に関する先進的な取り組みや BIM に関するアンケートは定点観測的でとても参考になります。
・BIM の各社の取組み内情を教えて頂けるような機会を発信して頂けることを期待しています。

「BIM への取組み推進にあたって日建連に期待すること」

■水平展開・標準化について

・ガイドラインの共通化および見積用の単品コード、部位・エリアコード等の共通化
・見積書式の標準加工（共通利用）＋BIM から見積書式への出力に向けたマニュアルやガイドライン化
・専門工事会社の進むべき方向性を示していただけると幸いです。各社ばらばらだと対応が難しいです。
・意匠・構造図のデータ構成をもっと決めて欲しい。
・BIM の価値を計る指標を示してほしい。
・Revit データに関する権利について様々なケースを想定しながら、日建連等大きな組織から指標がでてくれると発注者と整備しやすいと思っています。また、BIM 設計費の単価も同様です。
・BIM に対する標準化が課題になると考えます。
　各部会と連携し、各社毎のオリジナルにならないような取組を望みます。
・データ、一元化前の「ファイル命名ルール及びフォルダ構成ルール」の統一化を進めて欲しいです。
・協力会社との BIM 入力すべきデータドリブンのガイドライン化

■その他

・BIM 推進の為に発注者のもの決めスケジュールの理解への発行文書提示化
・発注者と設計者と施工者の相互協力を強力にメッセージを推進して頂きたい。
・建設業界全体が DX、BIM が推進されることを期待しております。

・設計期間や設計料の問題について、今後整理し発注者への投げかけをしていけると良いと思います。
・BIM を行うことに対する発注者の理解が得られるよう、日建連を中心として活動していただきたいです。
・全業種での BIM 推進を是非お願いしたいと思います。
・BIM 活用やその障害となる設計変更などについて、業界への理解と同時に、施主（社会全般）への理解推進をお願い致します。
・建設工事の生産プロセスの合理化、効率化に BIM は必須だと認識しています。
また、これから本格的に制度化される LCA 算定や環境評価性能とも紐付いてきますので、着実に普及、活用される事を期待しています。